

平成 19 年 5 月 吉日

学会員各位

## 日本糖尿病学会からのお願い

JDCPstudy「糖尿病における合併症の実態把握とその治療に関するデータベース構築による大規模前向き研究」参加へのお願い

拝啓

立夏の候、先生方にはますますご清祥の段、お喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、上記表題の JDCPstudy を始めるにあたり、皆様方に事前アンケートと症例報告書とお送りしているかと存じます。

今回の事業は日本糖尿病学会、日本腎臓学会、日本糖尿病眼学会、日本歯周病学会の4学会が主催となる大規模な研究となっており、糖尿病学会では、糖尿病認定教育施設の責務として、学会が遂行する学術研究に協力することが望ましいと理事会において決定されましたことから、学会が主催する本大規模研究に参加をお願い致します。現在のところ、1万人の目的症例に対して、6,200症例程度でありますので特に認定教育施設の先生方におきましては、是非この学会の研究に参加をお願いしたいと思います。

また、今回の学会ブースにて参加募集および説明会も行っておりますので、お気軽にお立ち寄りいただければと存じます。

皆様のご協力をお待ちしております。

敬具

糖尿病データベース構築委員会

委員長：小林 正（富山大学附属病院 病院長）

委員：堀田 饒、岩本安彦、田嶋尚子、山田信博、門脇 孝（日本糖尿病学会）

榎野博史（日本腎臓学会）、北野滋彦（日本糖尿病眼学会）

野口俊英（日本歯周病学会）、吉池信男（疫学専門特別顧問）

ワーキンググループ

- ・腎 症：羽田勝計、古家大祐
- ・網 膜 症：山下英俊、佐藤幸裕
- ・神 経 障 害：中村二郎、安田 斉、馬場正之
- ・大血管障害：山崎義光、宇都宮一典
- ・食 事 療 法：津田謹輔
- ・運 動 療 法：曾根博仁
- ・疫 学：西村理明
- ・歯 周 病 学：稲垣幸司
- ・研究事務局：山崎勝也（E-Mail：matsuoka@med.u-toyama.ac.jp）

データ記入に関するお問い合わせ先

・データセンター：株式会社シーポック

窓口担当：高山 大記 TEL：03-5840-9291 E-Mail：otoiawase@cpoc.co.jp

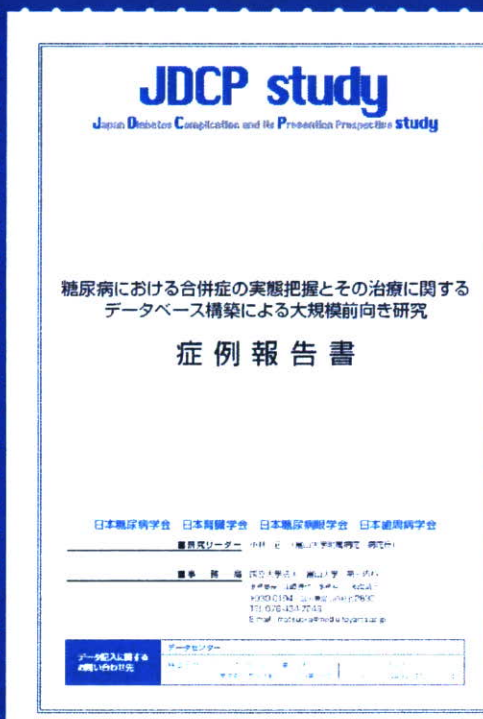
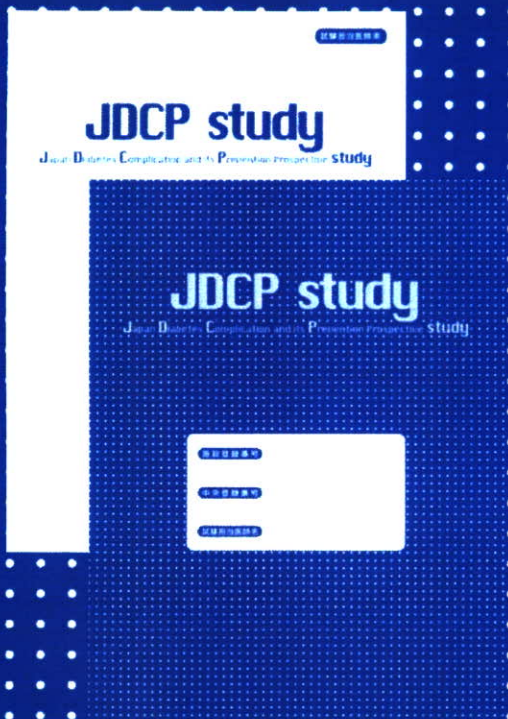
～ 第50回 日本糖尿病学会年次学術集会 ～  
平成19年5月24日(木)～26日(土)：仙台

会場：サンフェスタ 1階

『JDCP study』への参加募集・説明会を行っております。皆様のお越しをお待ちしております。お気軽にお問い合わせ下さい。

研究がスタートします！ ← 登録期間 … 平成19年9月末日まで

糖尿病における合併症の実態把握とその治療に関する  
データベース構築による大規模前向き研究



◆◆ 糖尿病データベース構築委員会 ◆◆

委員長：小林 正（富山大学附属病院 病院長）  
委員：堀田 饒、岩本安彦、田嶋尚子、山田信博、門脇 孝（日本糖尿病学会）  
横野博史（日本腎臓学会）、北野滋彦（日本糖尿病眼学会）  
野口俊英（日本歯周病学会）、吉池信男（疫学専門特別顧問）

\*\*\* ワーキンググループ \*\*\*

- ・腎 症：羽田勝計、古家大祐
- ・網 膜 症：山下英俊、佐藤幸裕
- ・神 経 障 害：中村二郎、安田 育、馬場正之
- ・大血管障害：山崎義光、宇都宮一典
- ・食 事 療 法：津田謹輔
- ・運 動 療 法：曾根博仁
- ・疫 学：西村理明
- ・歯 周 病 学：稲垣幸司
- ・研究事務局：山崎勝也（E-Mail：matsuoka@med.u-toyama.ac.jp）

\*\*\*\*\*

■ データ記入に関するお問い合わせ先 ・ データセンター：株式会社シーポック

窓口担当：高山 大記 TEL：03-5840-9291 E-Mail：otoiawase@cpoc.co.jp

平成 19 年 6 月 7 日

日本糖尿病学会研修指導医 各位  
専門医・一般会員 各位

～ 日本糖尿病学会からのお知らせ ～

Japan Diabetes Complication and its Prevention prospective study (JDCP study)  
「糖尿病における合併症の実態把握とその治療に関するデータベース構築による大規模前向き研究」  
参加へのお願い

標記の JDSP study を始めるにあたり、研修指導医各位あてに事前アンケートと症例報告書をお送りしているかと存じます。今回の事業は、本学会の糖尿病対策事業の一環であり、日本腎臓学会、日本糖尿病眼学会、日本歯周病学会にも協力を得、4 学会で行う大規模な研究となっております。

本学会理事会におきましては、学会が遂行する学術調査研究には、糖尿病認定教育施設の責務として積極的に協力することが望ましいと決議されました。

現在のところ、一万人の目標症例数に対して 6,200 症例程度の参加回答がありましたはまだ不足しております。糖尿病認定教育施設の先生方には、この初めての学会が母体となる本大規模研究が多大な成果を挙げられるよう、多くの参加とご協力をお願い申し上げる次第であります。

本研究は本学会の倫理委員会の審査を経て、「患者さまへの説明文書および同意書」の改訂版を印刷しております。また、本調査研究の手引き(CD 版)も用意しております。

また 6 月中旬頃から、糖尿病学会のホームページにアップ・デイトで情報を公開しますので、是非、ご高覧いただけますようお願い申し上げます。

糖尿病データベース構築委員会  
委員長 小林 正

- ※ 添付のアンケートにご回答いただき、6 月 18 日までに FAX して下さい。
- ※ 尚、教育認定施設に限らず、専門医・一般会員の勤務先等からも研究に参加できますので、ご紹介下さい。
- ※ 書類の雛形等は本委員会事務局またはデータセンターあて電子メールにてご請求下さい。患者様への説明文書および同意書は用意しておりますが、各施設にて変更が可能となっております。

糖尿病データベース構築委員会

委員長：小林 正（富山大学附属病院 病院長）

委員：堀田 饒、岩本安彦、田嶋尚子、山田信博、門脇 孝（日本糖尿病学会）

榎野博史（日本腎臓学会）、北野滋彦（日本糖尿病眼学会）

野口俊英（日本歯周病学会）、吉池信男（疫学専門特別顧問）

事務局：山崎勝也（富山大学 第一内科）事務担当：松岡靖子

FAX：076-434-5072 E-Mail：matsuoka@med.u-toyama.ac.jp

データ記入に関するお問い合わせ先

データセンター：株式会社シーポック TEL：03-5840-9291 E-Mail：otoiawase@cpoc.co.jp

6/18必着

## 糖尿病データベース協力アンケート回答用紙

- 病院名： .....
- 病院住所： .....
- 科名： .....
- DM代表者名： .....
- アンケート回答者名： .....
- 電話番号： .....
- FAX 番号： .....
- メールアドレス： .....
- 病床数： .....
- 全糖尿病患者フォロー数：約 ..... 名

○眼科の有無： [ あり ・ なし ]  
眼底4 方向撮影\* [ 可 ・ 不可 ]

○歯科の有無 [ あり ・ なし ]  
パノラマ撮影\* [ 可 ・ 不可 ]  
口腔検査報告書\* [ 可 ・ 不可 ]

※ [ ]内はいずれかに○印  
をつけて下さい。

\* は必須項目ではありません。  
可能であればお願いします。

○食事調査票 (3ページ) \* [ 可 ・ 不可 ] 患者様記入用

○国際身体活動調査票 (1ページ) \* [ 可 ・ 不可 ] 患者様記入用

(各種調査票などは6月中旬頃より学会HPからご覧いただける予定です。)

○登録可能患者数： ..... 名

■備考：(質問、連絡事項など)

.....

.....

.....

Japan Diabetes Complication and its Prevention prospective study (JDPCP study)  
「糖尿病における合併症の実態把握とその治療に関するデータベース構築による大規模前向き研究」  
参加のお願い

本研究は、本学会の糖尿病対策事業の一環であり、日本腎臓学会、日本糖尿病眼学会、日本歯周病学会にも協力を得、4学会で行う大規模な研究となっております。

本学会理事会におきましては、学会が遂行する学術調査研究には、糖尿病認定教育施設の責務として積極的に協力することが望ましいと決議されました。

6月15日現在、1万人の目標症例数に対して約8,500症例の参加回答がありましたが、まだ不足しております。つきましては、この初めての学会が母体となる本大規模研究が多大な成果を挙げられるよう、多くの参加とご協力をお願い申し上げる次第であります。

事前アンケートで参加可能とご回答いただいた施設には、研究書類を順次発送しております。また、研究に新規参加される方、および事前アンケートへの回答をお済みでない方は、別添の回答用紙にて7月30日までに委員会事務局までFAXして下さい。

ご不明な点などございましたら、お気軽にデータセンターまでお問い合わせいただけますよう、お願い申し上げます。

糖尿病データベース構築委員会  
委員長 小林 正

- ※ 専門医・一般会員の勤務先等からも研究に参加できますので、是非ご応募下さい。
- ※ 書類の雛形は研究用ホームページよりダウンロードできます。また、患者様への説明文書および同意書は各施設にて変更が可能です。

糖尿病データベース構築委員会

委員長：小林 正（富山大学附属病院 病院長）  
委員：堀田 饒、岩本安彦、田嶋尚子、山田信博、門脇 孝（日本糖尿病学会）  
榎野博史（日本腎臓学会）、北野滋彦（日本糖尿病眼学会）  
野口俊英（日本歯周病学会）、吉池信男（疫学専門特別顧問）  
事務局：山崎勝也（富山大学 第一内科） 事務担当：松岡靖子

FAX：076-434-5072 E-Mail：matsuoka@med.u-toyama.ac.jp

データ記入に関するお問い合わせ先

データセンター：株式会社シーポック TEL：03-5840-9291 E-Mail：otoiawase@cpoc.co.jp

平成 19 年 8 月吉日

JDCP study 試験担当医師 各位

糖尿病データベース構築委員会委員長  
(JDCP study 研究リーダー)  
小 林 正 (富山大学附属病院 院長)

## JDCP study 登録期間(被験者登録の申請)延長のお知らせ

拝啓

残暑の候、先生方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は本研究に格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、6月より本研究がスタートし、おかげさまで、6月27日現在で318施設から10,338症例の参加申し込みがきており、仮登録も少しずつ行われております。

しかしながら、各施設で行われる倫理委員会の審査に2~3ヶ月要する施設もあり、思った以上に開始に時間がかかっております。また、初年度目標12,000症例へはもう一歩という状況であり、延長希望の問い合わせも増えてきていることから、登録期間を **9月末日まで から 10月末日まで 1ヶ月間 延長** することにいたしました。

つきましては、まだ本研究に参加されていないご施設や症例数を増やすことが可能なご施設がありましたら、是非お申し込みいただきたく、お願い申し上げます。

なお、お申し込みにつきましては、同封の追加申し込み用紙、またはJDCPstudyのホームページにあるアンケート用紙をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、データセンター株式会社シーポックまでFAXしてください。後日、症例数に応じて研究書類をお送りいたします。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、先生方のお力添えを賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

このたび JDCP study にご協力いただいている先生方とのコミュニケーションレターとして、JDCP study News を発刊することとなりました。Study の進捗状況や事務局からのお願いをしてお伝えして参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## JDCP study によせて

研究リーダー／富山大学 副学長・病院長  
小林 正

日本では糖尿病合併症に関する現状はあまり明らかになっていません。過去の疫学調査としては、JDCS、久山町研究などがありますが、糖尿病の治療法も大きく変化しつつある中で、現在の治療法の下で、合併症の発症、進展をどの程度抑えることができるかの研究が求められています。そこで、日本糖尿病学会、日本腎臓学会、日本糖尿病眼学会、日本歯周病学会の4学会では糖尿病患者の合併症の実態を探るため、「糖尿病における合併症の実態把握とその治療に関する大規模前向き研究(JDCP study)」をスタートさせました。この研究は、10,000名を超える糖尿病患者さんを5年間にわたって追跡調査するとともに、そのデータベース構築を目指すものです。欧米ではこのような臨床データが多数報告されていますが、日本では非常に少ないことから、データの集積が待ち望まれています。糖尿病合併症の実態が明らかになれば、新たな糖尿病治療ガイドラインの策定や、様々な治療法の医療経済学的な検討などにも応用されていくでしょう。



このように JDCP study は、将来の糖尿病治療を探るために不可欠な研究であることから、4学会が協力して研究に取り組むことの意義は大きく、必ずや有意義なデータが得られることを期待しています。

## JDCP study の概要

|         |  |
|---------|--|
| 研究代表者   | 富山大学 副学長・病院長 小林 正  |
| 目的      | 糖尿病患者 10,000名のデータベースをつくり、糖尿病合併症の治療状況の実態を分析して、今後の糖尿病治療に役立てることを目的とする |
| 研究デザイン  | 前向き観察研究  |
| 目標登録患者数 | 12,000名  |
| 参加施設    | 全国 378施設   |
| 対象      | 40歳以上75歳未満の1型または2型糖尿病患者  |
| 観察項目    | 身体検査、血液検査、尿検査、心電図検査、眼科検査、神経障害の検査、歯周病の検査、問診票による調査                   |
| 登録期間    | 2007年4月から2007年11月まで  |
| 追跡期間    | 最終登録から5年間(3年目に中間解析を実施)   |

## よくあるご質問

これまでにお寄せいただいたご質問のうち、代表的なものをお示します。詳しくは、JDCP study ホームページ「よくある質問 Q&A」をご参照ください。

- Q1** 神経障害指標の必須項目は3つとも必要ですか？  
必須項目の3つは特別な事情がある場合を除き全て測定してください。
- Q2** CVR-Rは測定しておりませんがよろしいですか？  
CVR-Rの測定は必須項目です。特別な事情がある場合を除き測定してください。
- Q3** 歯科・眼科は他の機関に依頼してその結果を書いても宜しいですか？  
問題ありません。
- Q4** 症例数が増えたので追加申し込みをしたいのですが、どのような手続きが必要ですか？  
「追加申し込み用紙」によりお申し込みください。お持ちでない方はこちらのホームページよりダウンロードしてください。

## JDCP study の意義

岡山大学 腎・免疫・内分泌代謝内科学 教授  
榎野 博史

糖尿病性腎症は糖尿病合併症の中でも最も重要な細小血管合併症の一つで、生命予後を左右することも多くみられます。腎症が進行して、腎不全に陥れば透析を余儀なくされます。我が国における2006年の1年間における透析導入患者は36,373人で、その内の43%が糖尿病性腎症であり、透析導入の最大の原因疾患です。日本腎臓学会では日本糖尿病学会と協力して進めている糖尿病性腎症合同委員会において、堺秀人先生を中心として糖尿病性腎症のデータベース構築を先行して企画しておりましたが、この度のJDCP studyと合同してデータベースを構築することとなりました。糖尿病合併症に係わる多数の学会が協力することにより、腎症をはじめとする合併症の実態を明らかにでき、今後の治療のあり方の基礎的なデータとなると考えられます。



## JDCP study への期待

東京女子医科大学糖尿病センター眼科 教授  
北野 滋彦

15年前の調査では、糖尿病網膜症は成人における失明の原因疾患のトップとされていました。ところが、厚生労働省難治性疾患克服研究事業 網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する研究 平成17年度研究報告書「わが国における視覚障害の現状」によると、視覚障害の主要原因疾患は、緑内障20.7%、糖尿病網膜症19.0%、網膜色素変性症13.7%となり、糖尿病網膜症は成人失明の原因疾患のトップの座を緑内障に譲ることとなりました。この調査は、直近1年間の視覚障害新規認定者2,034名(全国新規交付総数に対する抽出比率は12.4%)を対象に行われたもので、前回の調査に比べて、推定障害者数が緑内障、黄斑変性症で増加し、糖尿病網膜症は微増に留まったという結果でした。しかし残念ながら、この調査は視覚障害者の届け出に基づくもので、臨床における糖尿病網膜症による視覚障害の実態を正確に把握しているとは言えません。



今回の研究では、糖尿病患者10,000名のデータベース構築をもとに追跡調査を行うことで、糖尿病網膜症の実態を把握し、その治療指針の資料となるデータが収集されることが期待されます。ご協力のほど何卒よろしくお願いたします。

## JDCP study への日本歯周病学会の取組み

日本歯周病学会前理事長/愛知学院大学歯学部 長  
野口 俊英

歯周病は歯を支える歯周組織の疾患であり、自分自身の歯を失う最大の原因です。歯周病の主たる病因は歯の表面に強固に付着した細菌の集団(バイオフィルム)ですが、病変の進行にはその他の多くのリスクファクターが関与しています。その中でも特に糖尿病は以前より歯周病との関連が示唆されてきましたが、近年になり多くの疫学研究や動物実験などのEBMに基づいた検証がなされ、米国では歯周病が糖尿病の第6番目の合併症と認知され始めています。今回のJDCP studyに歯科界から参加させていただくことは、「歯周病と糖尿病との関連性」を追求し、国民の健康の維持に貢献することの出来るきわめて意義深いことであり、日本歯周病学会としてワーキンググループも立ち上げ最大限のエネルギーを注いでおりますので、他学会の先生方のさらなる御協力と御支援を御願いたします。



## 事務局より ~症例仮登録促進のお願い~

事務局長/富山大学医学部第一内科  
山崎 勝也

この度は、JDCP studyへのご参加を頂き、誠にありがとうございます。本研究は糖尿病患者10,000症例を5年間追跡する研究です。途中でのドロップアウトを考えますと、開始時には、最低12,000例の登録が必要と考えました。皆様のご協力を得て、アンケート調査による患者登録予定数は約12,000例に達しておりますが、現在、仮登録用紙をお送りいただいた症例数は約1割程度にとどまっております。ご希望がございましたら貴施設のデータをエクセルファイルにてご返却させていただきます。先生方にはお忙しい診療の中、お手数ではございますが、目標症例数を達成できますよう、ご協力を宜しくお願い致します。

### データセンターからのお知らせ

JDCP study データセンターならびに Newsletter 発行を担うこととなりました株式会社シーポックでは、臨床試験から市販後のEBM構築まで幅広い業務支援を行っています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

JDCP study に関するお問い合わせ先：データセンター/株式会社シーポック 石井 行雄  
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16 Tel. 03-5840-9291/Fex 03-5840-9295  
E-mail otoiawase@cpoc.co.jp



2007 年 11 月吉日

JDCP study 協力施設 ご担当先生 各位

JSCP study 研究リーダー  
富山大学 副学長・病院長  
小林 正

### JDCP study 患者登録促進のお願い

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は JDCP study にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて本研究がスタートしてから早 6 ヶ月が過ぎようとしています。すでにご案内しましたとおり、ドロップアウトを考慮すると、開始時の登録患者数は最低 12,000 名が必要と考えていますが、11 月 21 日現在の登録患者数は 2,804 名です。そのため現状では、登録期間内に目標数を達成できない可能性が高く大きな危惧を抱いております。

JDCP study は、将来の糖尿病治療を探るために不可欠で、また 4 学会が協力して取り組んでいる非常に意義のある研究と位置づけています。是非とも 1 名でも多くの患者登録を頂きたく、ここにあらためてお願い申し上げます。

登録締め切りは 11 月末となっておりますので、まだ未登録データをお持ちの先生は、お急ぎ登録手続きをお願いいたします。また、すでに予定登録数を完了されたご施設で追加登録が可能な場合は、是非ご協力を賜れましたら幸いです。データセンターまでご一報くだされば、直ちに症例報告書をお送りいたしますので、よろしく願いいたします。

なお、現在の貴施設(登録施設)の登録進捗状況を記します。

未登録データをお持ちの場合は、データセンターへの送付予定時期を下の枠内に記入し、下記 FAX 番号へ「小林 正」宛で返信いただきますようお願いいたします。

[ \* 進捗率 100%以上のご施設にもお送りしていますが返信は不要です ]

先生方におかれましては、お忙しい診療の中たいへんお手数をおかけいたしますが、目標患者数の達成に向けて、よろしくご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

なお、すでに登録書類をお送りいただいております場合は、行き違いにつき何卒ご容赦下さい。

敬具

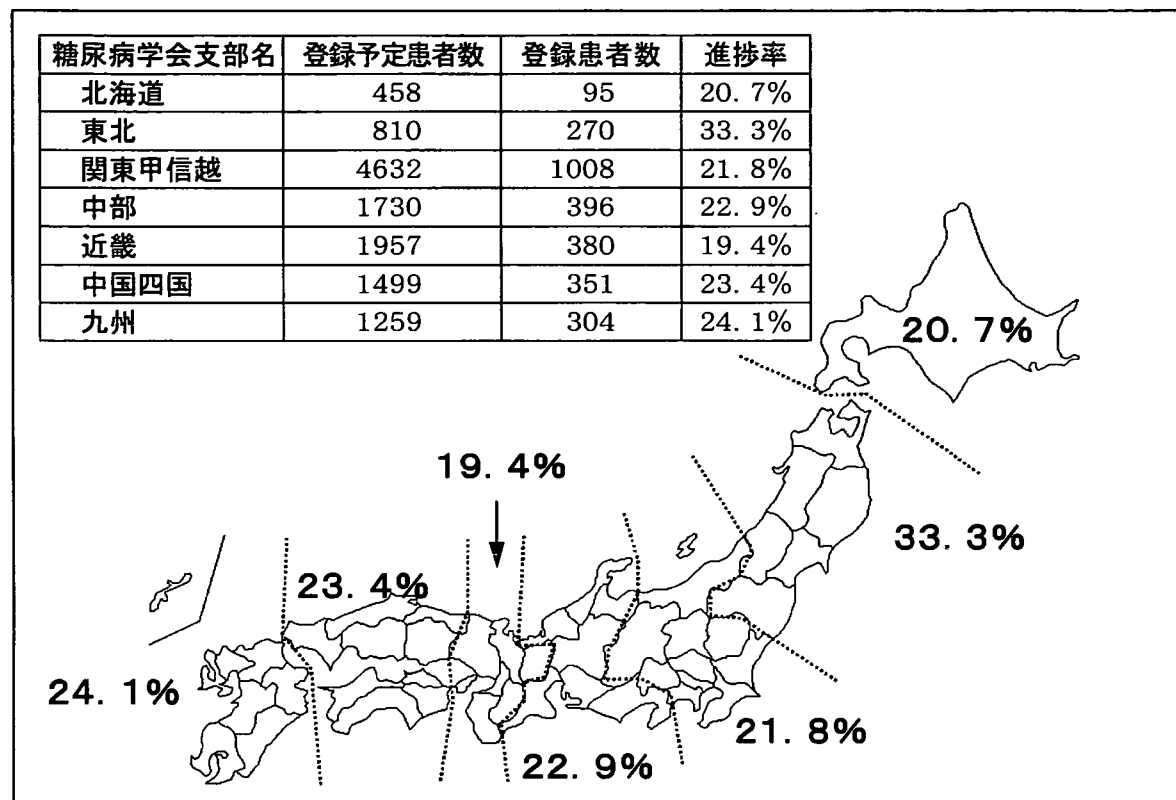
#### 貴施設の現在の登録状況(11 月 15 日現在)

| ご施設名              | 登録予定患者数 | 登録患者数 | 進捗率 (%) |
|-------------------|---------|-------|---------|
| 学部附属病院<br>学講座 学講座 | 50      | 21    | 42      |
| 先生                |         |       |         |

未登録データの送付予定日  
(右の枠内にご記入下さい)

FAX 返信先:03-5840-9295 (株)シーポック 気付 小林 正 宛

【 地域(糖尿病学会支部)別登録進捗率:11月15日現在 】



【事務局からのお願い - 症例報告書の記入ならびに送付について - 】

症例報告書をご記入ならびにご送付いただく際には、以下の点にご留意いただきますようお願いいたします。

(1) 報告書全般

- ・必須項目には必ずご記入下さい。データが欠損している場合や該当する項目がない場合は空白とせず、余白に「なし」「データなし」、「不明」などと適宜ご記載下さい。
- ・『患者基本情報』、『追跡情報(初年度)』のデータ採取日を必ずご記入下さい。

(2) 患者基本情報

- ・「年齢40歳以上75歳未満」の選択基準がありますので、必ず生年月月のご確認をお願いします。
- ・患者基本情報のうち送付いただくのは《②データセンター送付用》(3ページ)のみです。ミシン目で切り取り、青色の返信用封筒に入れてお送り下さい。《①研究担当者保管用》(2ページ)はデータセンターに送付せずご施設にて保管下さい。

(3) 追跡情報(初年度)

- ・『糖尿病治療情報』(6ページ)の「①食事療法」あるいは「②運動療法」で「あり」にチェックされ場合は、必ず右の「遵守状況」にもご記入下さい。
- ・8ページ「医師の証明」の署名欄に必ずご署名(または記名捺印)下さい。
- ・2年目記入の追跡情報用紙は、改めましてお送りする予定ですので、何れのページも切り離さずに、黄色の返信用封筒に入れてお送り下さい。

登録に関するお問い合わせ先: データセンター/株式会社シーポック TEL: 03-5840-9291

糖尿病学会認定教育施設 各位

JSCP study 研究リーダー  
 富山大学 副学長・病院長  
 小林 正

「糖尿病における合併症の実態把握とその治療に関するデータベース構築による大規模前向き研究」

### JDCP study 参加のお願い

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

6月よりスタートしております JDCPstudy は日本糖尿病学会、日本腎臓学会、日本糖尿病眼学会、日本歯周病学会の4学会で行う大規模研究です。またこの研究は、糖尿病学会の糖尿病対策事業の一環でもあり、11月30日で患者登録が一旦終了したところではありますが、締め切り日時点の登録数は3,200名と目標到達に遠く及んでいないことから、患者登録期間を以下の通り延長し、本年5月以降に認定教育施設となった施設、また、認定教育施設でまだ参加していない施設にも是非とも参加いただきたく、ご案内させていただいております。

#### 患者登録期間の変更(2007年12月を次の期日まで延長)

仮登録 : 2008年2月29日まで

本登録 : 2008年3月31日まで

JDCP study は4学会協力の下、標準化されたデータを大規模に集約するもので、本研究によるデータベース構築が、将来の糖尿病診療の礎になり、厚生労働省の医療行政にも生かされる本研究を成功に導くことは糖尿病学会の責務であると認識しています。

12月2日行われた糖尿病学会理事会でも、登録の現状が問題となり、認定教育施設には、この研究に最低限参加し、患者データの基礎資料収集に協力する責務があるとの意見が大勢を占め、未参加の施設に対し参加を呼びかけることになりました。今回新たに参加される施設には、目標達成のため20例以上の登録をしていただく事になりますので、ご協力宜しくお願いいたします。

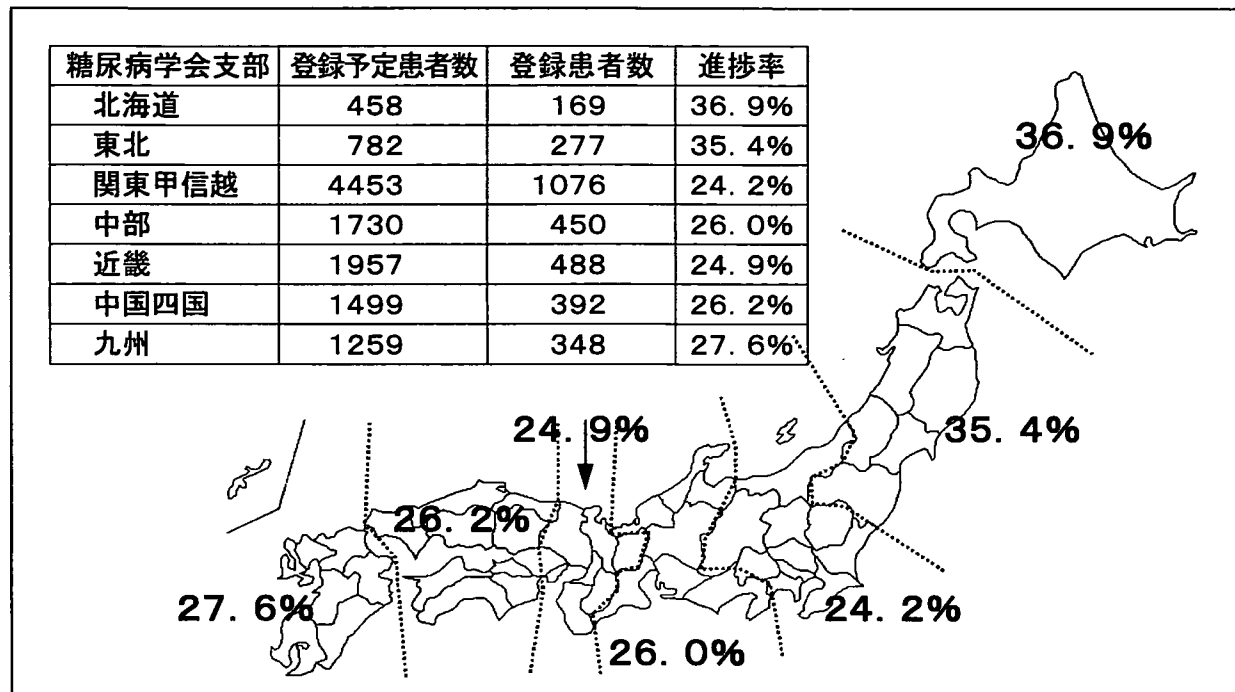
つきましては、同封しております、計画書、症例報告書などをご覧いただき、別紙のアンケート用紙にて2008年1月18日までにFAXにてご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、すでに他の診療科と合同で参加されている場合にはその旨お知らせください。また、参加できない場合は、必ず理由を記入してください。

|         |  |
|---------|--|
| データセンター | 株式会社シーポック 担当:中村、石井<br>TEL 03-5840-9291 FAX:03-5840-9295<br>E-mail/ otoiwase@cpoc.co.jp |
|---------|--|

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | 富山大学附属病院内 JDCPstudy 事務局 窓口担当:松岡<br>TEL:076-434-7248 FAX:076-434-5072<br>E-mail/ matsuoka@med.u-toyama.ac.jp |
|-----|---|

【 地域(糖尿病学会支部)別登録進捗率:11月30日現在 】



●参加に当たって●

この研究は疫学研究(観察研究)であり、5年間毎年一回同じ必要事項にデータを記載していただきます。

本研究は2007年5月22日に糖尿病学会の倫理委員会(HPに掲載)、また、2007年7月12日には研究リーダーの所属施設である、富山大学附属病院の倫理委員会の審査にも通過し、スタートしております。

本研究の参加に際しては、このような疫学観察研究でも各施設において組織されている個別の倫理委員会の審査を通す必要がある場合がありますので、事前に担当部局にご確認いただきますようお願いいたします。

実際に使用する書類のコピーを同封いたしますので、ご不明な点がございましたら、データセンターまたは事務局までお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

●●同封書類●●

- ① 本状(お知らせ)
- ② 研究参加申し込み用紙
- ③ 簡易手順書
- ④ 試験計画書(登録期間の変更あり)
- ⑤ 患者説明書および同意書(各施設にて必要に応じて変更可能です。)
- ⑥ 症例報告書
- ⑦ 各種調査票(網膜症調査票・神経障害問診票・歯周病問診票・口腔検査報告書) \* 必要に応じてお使い下さい。必ず使用しなければいけないものではありません。また、歯科は問診票以外は必須ではありません。
- ⑧ 食事調査票
- ⑨ 身体活動調査票

\* 詳しくは JDCPstudy ホームページに研究に必要な書類、手引きなどが載っております。また、Q&A もありますので是非、ご参照ください。 [http://www.jds.or.jp/jdcp\\_study/](http://www.jds.or.jp/jdcp_study/)

略式名称などの違いにより、すでに参加されている御施設あてに誤って本状が送付されました場合にはお詫び申し上げます。お手数ですが、FAXにてその旨お知らせくださいますようお願い申し上げます。

## 糖尿病データベース研究参加 回答用紙

研究に参加します。       研究に参加できません。 (※チェックを入れてください)

病院名 : .....

病院住所 : .....

科名 : .....

DM代表者名 : .....

アンケート回答者名 : .....

電話番号 : .....

FAX 番号 : .....

メールアドレス : .....

病床数 : .....

全糖尿病患者フォロー数 : 約 ..... 名

眼科の有無 : [ あり ・ なし ]

眼底4 方向撮影\* [ 可 ・ 不可 ]

歯科の有無 [ あり ・ なし ]

パノラマ撮影\* [ 可 ・ 不可 ]

口腔検査報告書\* [ 可 ・ 不可 ]

食事調査票 (3ページ) \* [ 可 ・ 不可 ] 患者様記入用

国際身体活動調査票 (1ページ) \* [ 可 ・ 不可 ] 患者様記入用

※ [ ]内はいずれかに○印  
をつけて下さい。

\* は必須ではありません。

登録可能患者数 : ..... 名

■備考 : (質問、連絡事項など)

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

□□□病院 □□□科

□□ □□先生

拝啓

寒冷の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

日頃は大変お世話になっております。

糖尿病学会・腎臓学会・糖尿病眼学会・歯周病学会の 4 学会にて開始しました「糖尿病における合併症と治療に関するデータベース構築による大規模前向き研究」も登録開始してから既に半年以上経過し、4,000 症例程度の仮登録を得ていますが、まだ 1 万症例に程遠く苦戦しております。

去る 12 月の糖尿病学会の理事会では、この事業は厚生労働省の支援の下実施しており、その結果は厚生施策や学会が目的とする患者治療や合併症予防にも繋がる重要な研究であるとの認識から、少なくとも学会の教育認定施設(約 600 施設程度)では、この研究事業に参加すべきであるとの結論が出ました。すなわち、教育認定施設では少なくとも、20 症例程度の登録をお願い致したく今回まだ参加されていない施設の先生方にお手紙差し上げている次第です。

また、認定教育施設におかれましては、3 年後の更新時には、データベース研究に参加していること必須条件にする可能性もありますので、できるだけ参加をお願いいたします。

昨年行いました「糖尿病学会の登録データベース協力アンケート」では、登録可能患者数をお知らせいただき、試験の書類を一式お送りさせていただきましたが、スタートが遅れたこともあり、各施設の倫理委員会などの通過の問題から参加を見送られたという意見があったことから、登録の締め切りを延長し、仮登録を 5 月末までとすることになりました。

また、眼底写真、歯科のパノラマ、および口腔検査報告書は必ずしも必要ではありません。

また、倫理委員会の審査が必要であれば、事務局の方でも雛形を用意しておりますのでご連絡ください。

なお、別紙に現在多くの登録をして頂きました、トップ 20 の施設のグラフを同封いたしましたのでご参考にさせていただければと思います。これら 20 の施設の先生方に厚く御礼申し上げます。

貴施設のご発展と先生方のご活躍を祈念申し上げ、この研究への参加をお願い申し上げます。

敬具

平成 20 年 1 月 22 日

JDCPstudy 研究リーダー

(糖尿病学会データベース構築委員会)

富山大学 副学長・病院長

小林 正

※【別紙】回答用紙にて 2/20 までに事務局あて FAX 送信してください。

## 糖尿病データベース研究参加 回答用紙

病院名 : .....

病院住所 : .....

科名 : .....

DM代表者名 : .....

アンケート回答者名 : .....

電話番号 : .....

FAX 番号 : .....

メールアドレス : .....

病床数 : .....

全糖尿病患者フォロー数 : 約 ..... 名

貴施設における倫理委員会の有無および開催日    あり ・ なし    (    月    日 )

※ ○をつけてください。

登録可能患者数 : ..... 名

■備考 : (質問、連絡事項など。) ※参加できない場合は理由をお書きください。

後日、電話さしあげることあります。

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

□□□病院 □□□科  
□□ □□先生

拝啓

春寒の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

日頃は大変お世話になっております。

糖尿病学会・腎臓学会・糖尿病眼学会・歯周病学会の 4 学会にて開始しました「糖尿病における合併症と治療に関するデータベース構築による大規模前向き研究」も登録開始してから既に半年以上経過し、4,000 症例程度の仮登録を得ていますが、まだ 1 万症例に程遠く苦戦しております。

去る 12 月の糖尿病学会の理事会では、この事業は厚生労働省の支援の下実施しており、その結果は厚生施策や学会が目的とする患者治療や合併症予防にも繋がる重要な研究であるとの認識から、登録の締め切りを再度検討し、仮登録を 5 月末まで延長することになりました。

なお、今すでにお願している症例につきましてはできるだけ 3 月までに仮登録いただきたく、新規参加症例に対しては 5 月まで仮登録を受け付けますので、追加症例がございましたら、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

なお、別紙に現在多くの登録をして頂きました、トップ 20 の施設のグラフを同封いたしましたのでご参考にいただければと思います。これら 20 の施設の先生方に厚く御礼申し上げます。

貴施設のご発展と先生方のご活躍を祈念申し上げ、この研究への参加をお願い申し上げます。

敬具

平成 20 年 2 月 4 日

JDCPstudy 研究リーダー  
(糖尿病学会データベース構築委員会委員長)  
富山大学 副学長・病院長  
小林 正

※【別紙】回答用紙にて 2/29 までに事務局あて FAX 送信してください。



## 糖尿病データベース研究参加 回答用紙

病院住所 : .....

病院名 : .....

科名 : .....

DM代表者名 : .....

アンケート回答者名 : .....

電話番号 : .....

FAX 番号 : .....

メールアドレス : .....

### 可能登録数および日付

※研究書類が届いていない場合は事務局までお知らせください。

■ 月 日までに 約 症例 登録可能

■ 月 日までに 約 症例 登録可能

■ 月 日までに 約 症例 登録可能

### 貴施設の倫理委員会

※糖尿病学会と研究リーダーの施設では倫理委員会を通過しております。

倫理委員会に通す必要が

■ 月 日 ある ・ ない (○をつけてください)

※備考 : (質問、連絡事項など。) ※参加できない場合は理由をお書きください。  
後日、電話さしあげることあります。

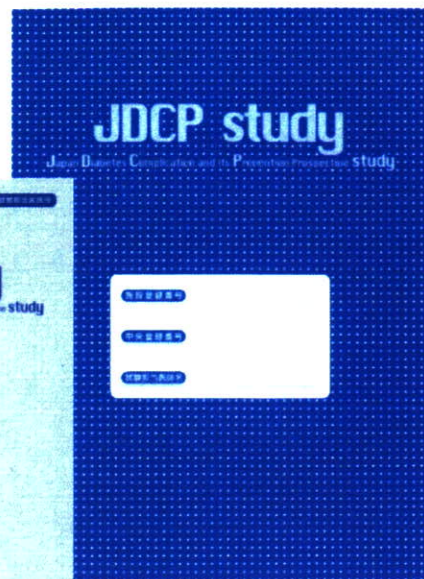
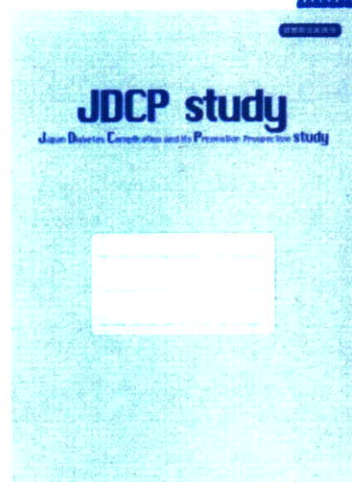
.....  
.....  
.....  
.....

＊ ＊ 仮登録期間を5月末日まで延長しました！ ＊ ＊

糖尿病学会・腎臓学会・糖尿病眼学会・日本歯周病学会の4学会にて開始した『糖尿病における合併症と治療に関するデータベース構築による大規模前向き研究』も登録開始してから既に半年以上経過しました。

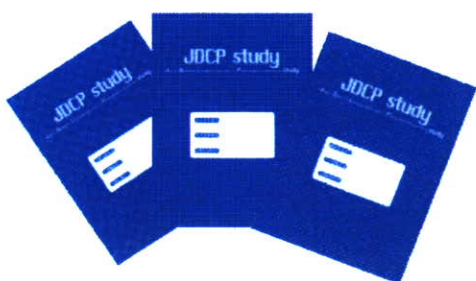
日常診療のお忙しい中、データを収集いただき誠にありがとうございます。

データベースを構築するための症例数はまだまだ不足しておりますので、追加や新規の参加をお待ちしております。



# 登録は

# お済みですか？



## 第42回糖尿病学の進歩

会期：2008年2月15日(金)～16日(土)

説明会会場：サンポートホール高松 6階 61会議室

ブースにて説明会を開催しておりますので、ご不明な点がございましたら、お気軽にお立ち寄りください。詳しくは JDACPstudyHP をご覧ください。

[http://www.jds.or.jp/jdcp\\_study/](http://www.jds.or.jp/jdcp_study/)

### 糖尿病学会データベース構築委員会

委員長(研究リーダー):小林 正

委員:堀田 鏡、岩本安彦、田嶋尚子、山田信博、門脇 孝(日本糖尿病学会)、榎野博史(日本腎臓学会)、北野滋彦(日本糖尿病眼学会)、野口俊英(日本歯周病学会)、吉池信男(疫学専門特別顧問)

ワーキンググループ:【腎症】羽田勝計、古家大祐 【網膜症】山下英俊、佐藤幸裕 【神経障害】中村二郎、安田 斎、馬場雅之

【大血管障害】山崎義光、宇都宮一典 【食事療法】津田謹輔 【運動療法】曾根博仁 【疫学】西村理明 【歯周病学】稲垣幸司

研究事務局:山崎勝也(富山大学医学部第一内科、窓口担当:松岡、TEL:076-434-7248、E-mail:jdcp@med.u-toyama.ac.jp)

データセンター:株式会社シーポック(窓口担当:中村、TEL:03-5840-9291、FAX:03-5840-9295、E-mail:otoiawase@cpoc.co.jp)

# JDACP Study

Japan Diabetes Complication and its Prevention  
prospective Study

# JDCP Study

Japan Diabetes Complication and its Prevention prospective Study

## 5月末日まで 登録期間を延長！

この研究は糖尿病学会のデータベース構築研究です。ご協力をお願いいたします！

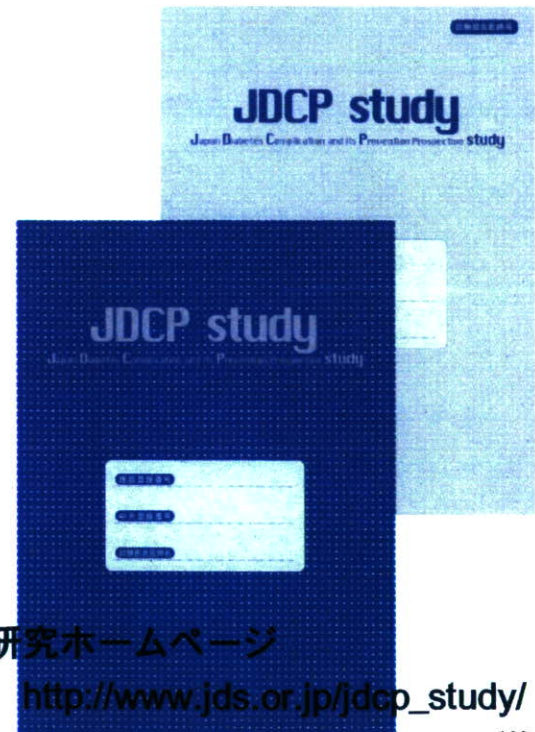
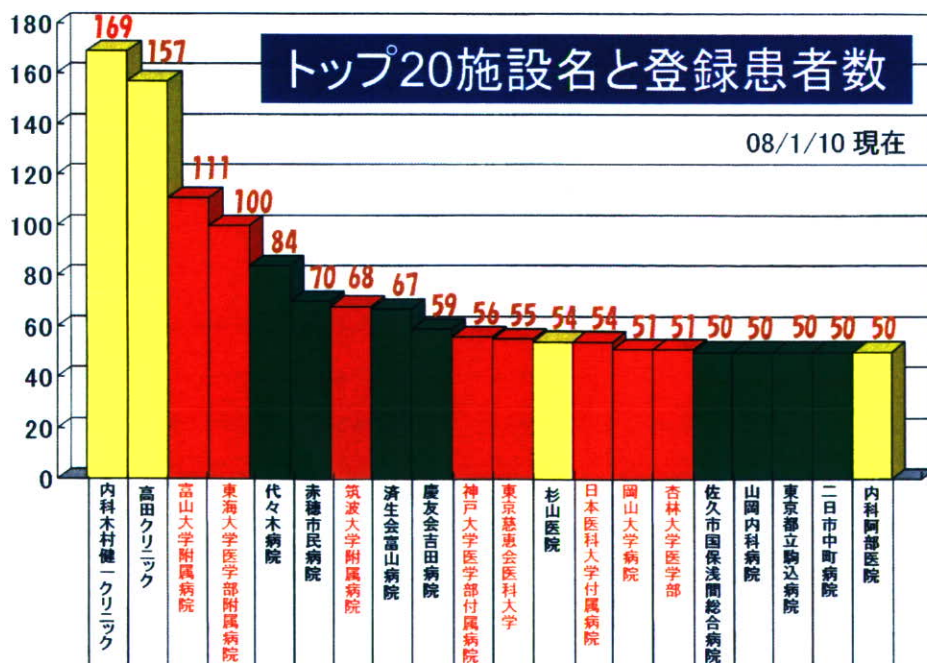
本研究は、『糖尿病における合併症と治療に関するデータベース構築による大規模前向き研究』(JDCP study)、日本糖尿病学会、日本腎臓学会、日本糖尿病眼学会、日本歯周病学会の4学会の専門家が合同で取り組むことになった5年間のhistorically prospective studyです。

対象は全国の45歳以上74歳以下の1型、2型糖尿病患者一万人で、end-point(+)end-point(-)群を各々前向きに再発予防群、あるいは発症予防群としてフォローアップしていきます。

登録が開始され半年以上経過しましたが、4000症例の仮登録となっており、苦戦しております。

追加登録やご興味のある方の新規参加をお待ちしております。

**\*説明会場：2008年2月15日(金)～16日(土) サポートホール高松6階  
61会議室 3-6 にて**



研究ホームページ

[http://www.jds.or.jp/jdcp\\_study/](http://www.jds.or.jp/jdcp_study/)

## 糖尿病専門医各位

謹啓

早春の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

さて、日本糖尿病学会においては、日本腎臓学会、日本糖尿病眼学会、日本歯周病学会と協力して、「糖尿病における失明、歯周病、腎症、大血管合併症などの実態把握とその治療に関するデータベース構築による大規模前向き研究（JDCP study）」を開始し、既に患者登録を去年から行っていますことをご存知かと思えます。

この研究は、厚生労働省からも支援を受け、現在登録患者の目標人数の1万症例を向けて、取り組まれています。未だ目的人数に達せず、苦戦しております。専門医認定委員会では、患者の実情把握と治療による合併症の影響などに関するデータベース構築は、非常に重要であり、学会員自らの手で施行すべきものであり、特に専門医や認定教育施設ではこのような学会の事業に積極的に参加すべきものと委員会では考えております。学会の定款にあります、糖尿病学の進歩に勤め、その知識を糖尿病の診療に生かすことこそ我々の使命であります。

このような見地から、専門医及び研修指導医で未だこの研究に参加していない先生方にはぜひ参加していただき、この研究を通じ糖尿病のガイドライン構築のため協力をお願いする次第です。一施設15症例、専門医一人当たり最低5症例の登録をお願いできれば、1万症例は超えることになっていますので、よろしくご協力のほど願います。なお、既にご存知のことと思いますが、登録は5月末まで延期しており、本登録は6月までの予定としております。

以上、専門医認定委員会から、データベース構築の大規模研究へのご参加を専門医、研修指導医の責務と考え此処に研究参加をお願いする次第です。

つきましては、別紙にあります「糖尿病データベース研究回答用紙」に必要事項をご記入の上、3月28日までにJDCP study事務局あてFAXにてご回答いただけますようお願い申し上げます。

なお、データベース構築委員会の詳細はホームページ([http://www.jds.or.jp/jdcp\\_study](http://www.jds.or.jp/jdcp_study))でご覧いただけます。

謹白

平成20年3月吉日

日本糖尿病学会  
専門医認定委員会  
委員長 清野 裕